

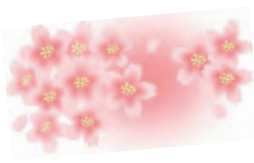
ひかり



発行 児童養護施設 聖母の騎士園
園長 山下公輝

〒859-0167 長崎県諫早市小長井町遠竹2747
TEL 0957-34-2152/FAX 0957-34-4224

新施設長に就任



「私たちは皆、成熟した人間になり、キリストの満ちあふれる豊かさになるまで成長するのです」(エフェソ書4章13節) 上記の聖句を聖母の騎士園は児童支援方針として掲げています。

この度、わたくしは児童養護施設 聖母の騎士園の施設長を務めることになりました。これまで子どもたちとの関わりを持っていましたが「24時間 365日」の生活を通して、子どもたちのために働くことの大変さと大切さを実感しています。不慣れなことが多く、皆さんにはご迷惑をかけてばかりでしたが、子どもたちの「最善の利益」を優先に考え、先人たちが残してくれた遺産を大切に、専門性を高め、地域の皆さんと連携をしながら、真の「家庭的養護」を目指して施設運営にあたりたいと思っています。どうぞ よろしく願いいたします。

園長 山下公輝

高校3年生 最後の思い出

テーブルマナー 退所を控えた高校3年生は、日本電信電話ユーザ協会主催でテーブルマナーに参加しました。これからの社会生活で体験するであろうことを踏まえて、学ぶいい機会です。味覚を味わうよりフォークとナイフのマナーに一生懸命でした。

就職激励会 施設を退所し、社会に巣立っていく卒園生の激励会がありました。会食後は、自活していくため生活設計をゲーム式で行い楽しく学ぶことが出来ました。それと退所した方の体験談を聞きました。苦しい時期を乗り越えたからこそ今があることに感銘を受け素晴らしい発表でした。

送別会 この春は、高校3年生 3名 中学3年生 1名が園を巣立っていきます。それぞれ自分が決めた進路に明るく希望に満ちた心でスタート出来るように残る子どもたちと職員一同の願いです。最後に卒園される皆さんの心あるメッセージにジーンとし後に続く在園生もわが身の事として受け止めていました。



騎士園の春の出来事



fucchi E の歌は心に訴える歌詞ばかり。いただいた CD をかけ口ずさむ子どもたちです。4月15日長崎であったライブで fucchi E と再会。一緒に写真を撮りました。

もうすぐ3月~と言う時、シンガーソングライター fucchi E の小さな小さなライブがありました。

騎士園には7~8年前にも来られて子どもたちとの交流もあって楽しいひと時を過ごし、その頃を子どもたちは覚えていて fucchi E が来ることを知って大喜び。

今回は、話と歌 すべて手話もついて、集まった人たち一人ひとりに語り掛けるように進めていました。



不審者対策



当園は自然に恵まれ、広いグラウンド、固定遊具公園、トレーニングには絶好の傾斜のある道路等、玄関はあるものの敷地内は、日中はともかく夜間は物騒な環境に位置する園です。

防犯カメラを設置し、いざという時の為、会議を通して不審者への対処、職員の役割分担、児童の安全確保について共通理解に努めています。



長崎県共同募金会より

長崎県共同募金会から平成28年度歳末助け合い運動(NHK 歳末たすけあい長崎新聞社歳末たすけあい)に寄せられた募金により就職、進学支度金として金120,000円の助成を受けました。募金をお寄せいただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

4月から、卒園した4名の仲間は新生活をスタートして早1か月が過ぎました。それぞれの場で頑張っている知らせを受け嬉しい次第です。



西日本新聞民生事業団より



毎年、西日本事業団から高校に入学する児童には目覚まし時計が寄贈されます。中学までは朝の目覚めは職員から起こしてもらいますが、高校生になったら朝の目覚めから、この時計で起きて悔いのない高校生活に励んで下さいと園長先生から話がありました。

中学校に入学する児童は、国語と英語の辞書を頂きました。辞書を持つ姿に中学生になったら~の意気込みが伺われました。



九州ろうきんより こども未来応援キャンペーン

3月中旬、九州労働金庫 長崎県本部から「子ども未来応援キャンペーン」として自立支援金の助成を退所を控えた子どもたちに頂きました。いざ退所となると複雑な気持ちを隠せない子どもたちですが、自分たちは支えられている事をこの時期に頂く支援金はひしひしと有難さを感じています。子どもたちは「ありがとうの気持ちでいっぱいです」

アフターケア



聖母の騎士園では、退所に向けて個々に合った必要な支援に力を入れています。

公共機関の利用体験、職員と一緒に住民票の移動の手続き、銀行や郵便局の利用、遠出の際の予約等、これらの体験に困らないように支援に力が入ります。退所後に迷わないように、との願いです。一番大事な正しい金銭感覚を身に付ける事。特に自立生活する退所者には細かな支援の一つです。一社会人として職場や進学先で仲間との交流を通して自身を磨き上げて欲しいと願っています。

卒園生は仕事や人間関係の相談に来ます。結婚の報告、子どもを連れて来たりして卒園生にとって園は「我が家」です。

卒園生同士の繋がりは深く、お互いに連絡を取り合い騎士園家族の絆は強い！



萩原園長先生 ご苦勞様でした



この度、29年間施設長として騎士園のために働かれた萩原栄三郎園長が退任となりました。長年の間たくさんの苦勞があったと思いますが、その時その時の誠意ある働きに感謝しています。今は、法人の仕事がされています。園にいますのでこれからも園の子どもたちを見守って下さい。





新年度がスタート



平成29年度も3つのホームでスタートしました。

本園は、マリアホームは女子の中高校生。中学3年になったIさん。高校は母親と姉弟と生活する事を望み目標に向けて頑張っています。

けやきホームは男子中高生の小規模グループホーム。中学校に入学し学生服になじみ元気に登校。野球部に入部。帰りも遅くなり急に心身ともに成長。たくましさを感じられます。

隣町の小規模グループホームさくらホームは男子高校生、小さい時から本園で生活していた2名、自然に囲まれた広い環境から町の住宅街の生活に変わり新たな気持ちで高校生活をスタートしました。勉強と部活動の両立にエールを送ります。



マリアホーム



けやきホーム



さくらホーム

善意の心に支えられています！



平成29年2月よりご支援をして下さった皆様、誠にありがとうございました。

順不同 敬称略で掲載させていただきます。

〈寄付金〉

学校法人 暁星学園 岩永尚人・良子 大久保陽子



編集後記

新学期が始まり1か月が過ぎました。子どもたちは入学進級と新たな気持ちでスタートしました。

4月春爛漫、園庭は花がいっぱいで私たちの心を和ませてくれます。その中を元気に登校する姿に元気をもらっています。

新井



バス停から園に向かう道